

たかはの通信

2022年5月1日

vol. 141

発行 北川かつぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

緑いっぱい！
いいね 号

かつぱの楽校 生き物講座 第111回



左上:アライグマ

右上:タヌキ

左下:ハクビシン

右下:イタチ

フィールドサイン

北山公園や八国山は、哺乳類の生息空間にもなっています。しかしながら、私たちがそこで哺乳類を目にすることはまずありません。だけど哺乳類は、そこにいた痕跡を残してくれているのです。柔らかい土の上には足跡を残していきます。またフンや食痕を残していくこともあります。これらの哺乳類の痕跡はフィールドサインと言われ、目撃が難しい哺乳類の確認は専らこのフィールドサインで行われます。

さて、北山公園の菖蒲田などを良く見ると、やはり土の上に多くの足跡が残されています。私は4種の哺乳類が確認できましたが、一番目立つのはアライグマの足跡です。生き物をなんでも食べる凶暴な特定外来生物なので、数多く生息していることは在来の生態系にとって大きな脅威です。

ハクビシンも外来種で、果樹・野菜を食害したり、建造物を汚損するため、東村山市では駆除の対象となっています。タヌキは近年東村山でも稀に姿を見かけます。在来種の哺乳類で都心への進出も知られ

ています。イタチは2021年に初めて足跡を確認しました。それまでは見落としていたのかもしれませんが、在来種の肉食獣なので外来種ウシガエルやアメリカザリガニをどんどん捕食してもらいたいものです。

北山公園にお出かけの際は、ぜひフィールドサインを探してみてください。
(ビー永島)

【報告】 総会で2022年度の活動方針等を決定

北川かっぱの会では3月26日（土）に総会を開催しました。総会では、2021年度の活動報告、2022年度の活動方針、2021年度決算、2022年度予算、2022年度執行体制が承認されました。承認された2021年度の活動総括と2022年度の活動方針については、当会のホームページで見ることができます（「北川かっぱの会」で検索）。今年の総会は「持続可能な活動」がキーワードとなりました。

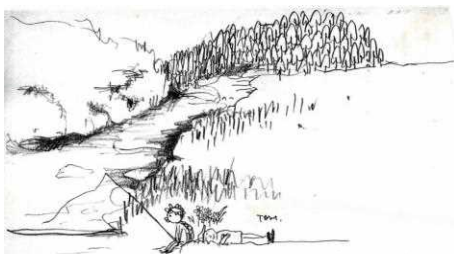
総会で特に議論となった事項としては、

①**持続可能な活動を行っていくために1年間をかけて活動内容の見直しを行っていくこと。**具体的には、各イベントの終了後に振り返りを行い、参加者が改善すべき点などを出し合いながら、個々のイベントだけではなく、組織体制の見直しも目指していくこと。

②**子育て層へのアピールと各イベントへの参加の声がけを強化していくこと。**具体的には、市主催の生きもの調査への参加者を中心に、当会のイベントへの参加を促していくような仕組みづくりを考え実践していくこと、またFB等での情報発信頻度を高めて若い世代への情報発信を強化していくこと。

③**7月から公園の指定管理者制度の導入に伴い、当面は北川かっぱの会の活動を指定管理者に理解してもらうことに重点を置きつつ、指定管理者との連携を図り、一緒に防除活動を行ってもらえる人を探したり、外来種情報の発信方法を模索していくこと。**また、よろず市民活動協議会（市内の様々な市民団体が参加する協議会）主催の市と指定管理者、公園で活動を行っている市民団体との意見交換会等に参加し、現場の問題点の解決を目指していくこと。

④**北山いきものクラブについては、担当のリーダーが不参加であっても、当日参加することができる会員が捕獲することができた魚や外来種を展**



示していくこと。また、捕獲した生き物の記録シートを作成し、**データを積み重ねていくこと。**

⑤組織体制については、北山わんぱく夏まつりのリーダーを交代し、北山いきものクラブのリーダーをサポートする担当者を新設すること。

などの点について議論を深めていきました。

2022年度も引き続き、北川かっぱの会へのご理解とご支援をお願いいたします。コロナ禍が続いていますが、引き続きコロナの感染防除対策に取り組みながら、活動を行っていきます。なお、会員の皆様方には「かっぱ通信141号（本号）」と一緒に、別刷で決算や予算、新役員についてお知らせしています。

いきものクラブ 活動開始！

4月9日（土）、北山公園善行橋近くのいつもの場所にて今年初回のいきものクラブを開催しました。

今回も水槽やたらいで魚などを披露しました。

出演者は、北川からはカワムツやオイカワ、カマツカなど、公園池からは外来種捕獲用もんどりで混獲されたモツゴやギンブナなど。加えて外来種のミシシippアカミミガメとウシガエルのオタマでした。

当日は天気も良く、初夏の様な陽気でしたが、コロナ感染状況がいまだ樂觀できるものではないためか…公園への来場者は少ない感じでした。北川の水が水路を経て菖蒲田に入り始めましたので、公園内でもこども達が魚採りを楽しめるようになるのも間もなくでしょう。

いきものクラブ、次回は5月14日13時～15時開演予定です。川や水路などで皆さんが捕ったいきものも出演させていただきますよ（雨天中止です）。



特に多かったカワムツ

北川かっぱの会の原点（第9回最終回）未来に向けて

八国山を含む狭山丘陵の雑木林などは、人間が生活していくために手を加え続けてきた、原生のままではない自然であり、「社会化された自然」と言えるものです。狭山丘陵の都立公園やトトロの森、さいたま緑の森博物館、東大和市立狭山緑地などでは、植物生態学者廣井敏男（1933～2017）の環境思想、「社会化された自然には、人間が利用するから価値がある（注1）、個々の生物や生態系にも価値がある」をベースに、雑木林などの自然が保全されてきた経緯があります。北川かっぱの会が活動してきた北山公園の田んぼ、湿地、池や北川も、実は社会化された自然であり、北川かっぱの会もこの社会化された自然に、人間が利用するから価値がある（注2）、個々の生物や生態系にも価値があると考えて活動を行ってきたと考えられます。雑木林等の保全活動と北川かっぱの会の活動の双方の間に人的な交流がほとんどなかったのにもかかわらず、期せずして里山保全の考え方と川や湿地の保全の考え方が一致していたと私は考えています。

現在、持続可能な地域づくりが求められている中では、人間が利用するために改変され、結果的に残った自然の価値を改めて見つめ直した上で、さらに個々の生物や生態系にも価値を認めた上で地域づくりを行っていくことが重要と思われる。



この考え方は、現在、世界規模の課題となっている異常気象や人口爆発に伴う食糧危機などの対応策を検討していく場合の基本的な考え方としても重要な意味を持っていると思われます。そして、

人間を他の生物と同視し、個々の生物や生態系にも価値があるから、人間にも生態系の一員として節度ある振る舞いが必要であるという考え方が重要であると思われます。

持続可能な地域を再生していくためには、川端会議のような行政や市民団体、市民など多様な関係者間の合意形成が欠かせません。保全運動を継続していくためには川端会議のような場での検討の継続と、個々の課題解決のための実践を重ねていくことが重要であると思われます。そして、里山や湿地の管理は順応的管理（注3）を行っていかざるを得ませんが、結果としてその保全方法は、モニタリングや現場の状況を踏まえて見直ししていく必要があります。これらを円滑に実践していくためには、現場の声を意思決定の場に十分に反映させ、生物多様性や持続可能性といった理念と、様々な現象が現れ、隠れている現場とを双方向につなぎ、現場の声を軸にしながらもう一度その保全方法を組み立て、実践を積み上げていくことが求められていると考えられます。

これらを前提に、北川や北山公園、八国山での川遊びや野遊び、また総合的な学習や土曜講座での学びなどを通じて、遊びの遺伝子を未来に引き継ぐことができればと願っています。（ベジタ清水）

（注1）薪炭や堆肥の原料調達場として、昔の人の生きた証である文化財として、現代人のレクリエーションの場などとして

（注2）稲作の場として、昔の人の生きた証である文化財として、現代人のレクリエーションの場などとして

（注3）計画における未来予測の不確実性を認め、計画を継続的なモニタリング評価と検証によって随時見直しと修正を行いながら管理する手法

おすすめの本

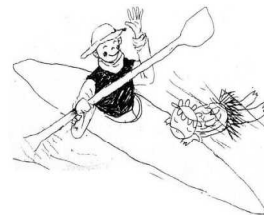
「東村山市史研究31号」

発行：東村山ふるさと歴史館

本誌の57-75ページには、「北川かっぱの会の活動のあゆみと未来に向けて」が掲載されています。本稿には、北川かっぱの会の設立前の1990年代前半の北山公園再生計画反対運動から、北川かっぱの会設立時の状況、多自然型川づくり、環境学習、外来種防除対策などの活動のあゆみ、また八国山を中心とした動物相の現状と保全の課題などについて掲載しました。執筆は清水と永島が担当しました。東村山市市史研究31号は「ふるさと歴史館」または市役所情報コーナーで購入することができます。頒価500円

追悼 野田知佑さん

野田知佑さんは、前代表の故三島悟さんと出版社を通じてのお知り合いだったことから、長らく北川かっぱの会の正会員として活動に協力をしていただけてきました。長良川や吉野川の河口堰建設反対運動のカヌーデモに北川かっぱの会が参加したことなどがきっかけとなり、カヌーイストだった野田さんが北川かっぱの会の会員に与えた影響は大きかったと感じています。この影響があったからこそ、北山わんぱく夏まつりでもカヌー遊びが取り入れられ、会員のDNAに「自然の中で楽しみながらのんびりと遊ぶこと」が生き続けてきたのだと思います。



また一人、巨星が去ってしまいました。ご冥福をお祈りしたいと思います。

新企画 シリーズ 川そうじが楽しい！

今年度最初の川そうじ。この日は天気が良く、最高気温が20℃越えて、朝から春を肌で感じる陽気でした。そんな気持ちよさが、私にとって約3年ぶりの川そうじのスタートを後押ししてくれ、9時少し前に集合場所近くの松村邸につくと、いつもの懐かしいお顔が揃っていました。「長井さん久しぶり」「長井さん何してるかなって、今朝ふと頭をよぎったよ」なんて声をかけていただき、一通り



皆さんとのご挨拶を終える頃には3年のブランクはどこへやら、いつもの川そうじモードに入っていました。この日の北川とその周りは、若葉の八国山や善行橋の下流に広がる新緑のトンネル、足元を泳ぐヨシノボリやオイカワの群れ。北川は、季節毎の顔を持つ自然豊かな川です。アットホームな仲間と自然を感じる北川での川そうじは、とても魅力的なものと再認識しました。

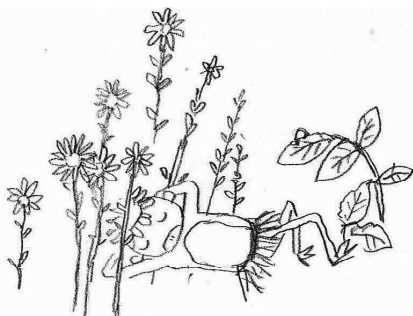
新企画 シリーズ 北山公園・北川のここが好き

長女がヨチヨチ歩きの際、菖蒲祭りに訪れ、「なんて素敵な公園！」と思ったのが北山公園とのご縁の始まり。隣接する小学校を見て、「ここに娘が通えたらいいのに！無理だろうな」と思っていたら、なぜか数年後に実現しました。

北山公園は、八国山と織り成す風景の美しさが素晴らしい！四季折々の木々の色、大きな青空に癒されます。多くの生き物を育むこの公園で、魚をすくったり、青大将の脱皮の瞬間を見たり、野鳥に親しむようにもなりました。トウキョウダルマガエルなど数少なくなった在来種、希少種の植物もこ

こで生き延びていると知り、魅力は増すばかりです。

さらに、自然と都会のせめぎ合いのあるこの地を守ろうとする沢山の人達がいます。私もいつの間にか、北川かっぱの会や田んぼ活動に参加するようになったのは、嬉しい誤算だったかも!?(藤)





2022年5月～7月 活動スケジュール

ホ は **ホ**ランティア募集 の略、**会** は会員のみの略
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ（検索：北川かつぱの会）
または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止のため、変更、中止となることがあります。
「かつぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

定例川そうじ **ホ**

毎月第2土曜 9～11時

5/14、6/11、7/9 集合：北山小正門前

北川いきものクラブ **ホ**

毎月第2土曜 13～15時 5/14、7/9

北山公園善行橋付近で北川や北山公園でとれた魚等の展示と魚とりなど。6月は菖蒲まつり開催のため休止予定。

北山公園の外来生物駆除 **ホ**

北山いきものクラブと同日時。これ以外の点検日はかつぱブログ等に掲載

夏まつり実行委員会

5/7(土) 16～18時 中央公民館第5

集会室 今年の夏まつりの実施の方向性について検討します。なお、夏まつりの実施の有無は、今後のコロナの感染状況を見極めながら検討していく予定です。

川端会議 東村山市主催

5/14(土) 10～12時 市役所5階会議室。北山公園の整備計画方針について検討、どなたでも参加可能です。

故三島悟さんの墓参

5/22 下記参照

菖蒲まつりでの展示 **ホ**

6/4(土)、6/5(日) 10～16時 北山公園善行橋近く。魚の水槽展示や外来種の展示等を行う方向で調整中です。最新情報はかつぱブログをご参照ください。

全国の川・一斉調査 **ホ**

6/12(日) 9～12時 廻田公民館集合。「身近な水環境全国一斉調査」の一環として北川と前川の6箇所について水質調査を実施。雨天決行。

故 三島悟さんの墓参

前代表三島悟さんがお亡くなりになって1年が過ぎました。故人を偲び、三島さんの墓参を企画しました。

・日時；5月22日(日)雨天決行

・場所；奥多摩霊園(青梅線奥多摩駅より送迎バスを利用予定)

・日程；東村山駅9:13発→奥多摩駅10:53(集合)→奥多摩霊園での墓参→奥多摩駅12時頃→多摩川の河原、または温泉で昼食→奥多摩駅(解散)14～15時頃発→東村山駅15:30～16:30頃

・今回は鉄道を利用して墓参しますが、車での現地集合もOKです。

かっぱ定例会

6/12(日)12~12:30頃 廻田公民館で8月頃までの活動予定を検討します。

新会員登場

上田幸子さん(市内栄町在住)
数年前から息子と北山公園で魚や虫を採って遊んでおり、ご縁があったのかっぱの会に入会させていただきました。昆虫、魚、植物、鳥、と博識な方々の中で身の引き締まる思いです。楽しく色んな体験をしていきたいです。

ご寄付に深謝!

NPO birth様、沙羅の会様、また北山いきものクラブの場で一般の方からご寄付をいただきました。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へ』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の 生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。
北川・八国山・北山公園では、どこ

にどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間3000円
支援会員:2年間で2000円
学生は2年間で1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記

今年のゴールデンウィークはようやく少し日常に近づいたのだろうか。都県境を超えて緑のグラデーションに染まりたい。(遊星菌車)

●発行:北川かっぱの会

連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp

